

令和4年10月3日

各位

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門  
動物・海洋生物科学講座 水産生物環境学分野 助教候補者選考委員会  
委員長 鬼倉 徳雄

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門  
動物・海洋生物科学講座 水産生物環境学分野  
助教候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり大学院農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座 水産生物環境学分野助教候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数  
助教・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する助教は、大学院農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 資源生物科学専攻 動物・海洋生物科学教育コース、および農学部生物資源環境学科 動物生産科学コース 水産科学分野担当教員となります。

当該職が担当する水産生物環境学分野は、家畜生体機構学分野、動物繁殖生理学分野、畜産化学分野、代謝・行動制御学分野、家畜生産生態学分野、海洋生物学分野、水産増殖学分野、アクアフィールド科学分野とともに動物・海洋生物科学講座を構成し、これに動物生命科学分野、水族分子発生学分野、水族発生毒性学分野を加えて動物・海洋生物科学教育コースを担当しています。

当該講座は、陸圏、水圏を包括した食料資源生物の持続的安定供給、革新的生産技術、保護管理や資源生物生存環境の保全という構想の実現を目指しています。本講座の中で水産生物環境学分野は、環境汚染物質による水圏生態系への影響解明および有害赤潮藻の増殖機構解明と被害軽減対策のための科学技術に関する教育研究を推進することを目的としています。

その中でも、当該職は以下の領域における先端的な教育研究を担当します。

- 1) 水圏におけるマイクロプラスチック等新興汚染物質が水生生物に及ぼす影響評価
- 2) 汚染物質の生体内動態に関する教育研究
- 3) バイオインフォマティクスやゲノム編集等の先端技術を駆使した汚染物質の毒性機構解明に関する学際的研究

当該選考は、以上の教育研究に資する人材を採用するために行うものです。

当該領域における教育研究に対する社会の要望は極めて大きく、またその推進は当該講座の将来構想とも一致します。当該職の採用は、当該部門および当該講座のみならず農学研究院における環境汚染物質の水生生物への影響評価を通じた水圏生態系保全に関する教育研究を推進し、将来構想の実現を促進するものです。

本選考委員会では、上記の研究領域における優れた研究業績を有し、先進的な教育研究を推進可能で、当該講座の将来構想の実現に大きく寄与しうる方を求めます。

### 3. 採用予定時期

教授会承認後、可能な限り早い時期（令和5年4月1日頃）

### 4. 応募資格

博士の学位を有するか、着任時までに博士の学位を取得見込みの者で、上記の領域1)～3)において優れた業績と該博な識見を有し、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方

### 5. 担当授業科目

#### (1) 大学院

##### ・大学院修士課程

(資源生物学専攻 動物・海洋生物学教育コース)

動物・水圏資源保全学（分担）、水圏生物資源環境学特論（分担）、

動物・海洋生物学プロジェクト演習（分担）等

(国際コース)

Seminar in a Specified Field（分担）、Master's Thesis Research（分担）等

##### ・大学院博士後期課程

(資源生物学専攻 動物・海洋生物学教育コース)

動物・海洋生物学特別実験（分担）、国際演示技法（分担）等

(国際コース)

Research Training on Animal and Marine Biosciences（分担）等

#### (2) 学部

(動物生産科学コース 水産科学分野)

水産化学実験（分担）、生物化学実験（分担）、

水産生物環境学実験（分担）、水産科学のフロンティア（分担）等

(国際コース)

Environmental and Ecological Science for Animal Production（分担）、

Animal and Marine Life Science（分担）等

(担当可能な基幹教育科目)

自然科学総合実験（分担）等

### 6. 提出書類（書類の(1)と(2)は下記 URL の様式を用いて作成願います）

(<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/template/>)

(1) 略歴書（PDFおよびWordファイル）

(2) 業績目録（PDFおよびWordファイル）

I 原著論文（本人の氏名にアンダーライン、本人が責任著者の場合は\*を付す）

発行年の新しいものから記述すること。著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁もしくはDOI、発行年を記述し、Impact factorおよび被引用回数（database名と調査年月日）を書くこと（Impact factorがない場合は、その旨記述すること）。また、「2. 所属・専門分野」の領域1)～3)のいずれに該当する論文かを記載すること。（該当しない場合は分類不要）

(i) 査読付雑誌, (ii) 査読なし雑誌, (iii) その他 で区分すること

- II 著書（著者名、題名、発行所、頁、発行年）
  - III 総説・解説等（Iの原著論文と同様の記載をすること）
  - IV 特許（発明者名、発明の名称、特許番号もしくは特許出願番号、特許登録もしくは特許出願年月）
  - V 学会での受賞（受賞者名、賞の名称、受賞内容、学会名、受賞年月）
  - VI 国際学会・国内学会等招待講演（講演者名、講演題目、講演学会名、講演年月）
  - VII 外部資金導入実績（名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担の別を記す。また、競争的資金については名称に＊を付すこと）
  - VIII 教育実績（担当授業科目等）
  - IX 社会・学協会活動への貢献等の実績（初等中等教育への貢献、新聞・雑誌記事、学協会での委員歴 等）
  - X その他（資格等）
- (3) 主要論文の電子ファイル5編（PDF）
- (4) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負（1,500字以内）（PDF）
- (5) これまでの教育の実績と今後の教育に対する抱負（1,500字以内）（PDF）  
教育実績のない場合、今後の教育に対する抱負
- (6) 推薦書（PDF）
- 自薦の場合：推薦書は不要。ただし応募者の教育・研究等について問い合わせできる方2名の氏名および連絡先を他の書類とともに提出
- 他薦の場合：推薦書1通  
推薦者から提出締切日時までに事務局に直接メールで送付  
メール送付先（事務局）：apmes-koubo@agr.kyushu-u.ac.jp

## 7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。状況により、リモート面接を行う場合があります。

## 8. 勤務地

九州大学大学院農学研究院 水産生物環境学研究室（福岡市西区元岡 744 伊都キャンパス）

## 9. 提出締切

令和4年11月25日（金）17:00

九州大学ファイル共有システム（Proself）によるアップロード提出：上記（1）、（2）のWord形式の電子ファイルおよび（1）～（5）のPDF形式の電子ファイルを提出締切日時までにアップロードのこと（自薦の場合は、問い合わせできる方2名の連絡先を記したPDFファイルも提出すること）

## 1 0. 書類の提出

書類提出に関する問い合わせ先に、応募を希望する旨のメールを、11月22日（火）の17時までに送ってください（メールのタイトルを“九州大学水産生物環境学助教応募—応募者氏名”としてください）。応募書類のアップロード先（学内ファイル共有システム内）を返信します。返信メール内のリンクを開き、ファイルをドラッグ&ドロップし、アップロードをクリックすると、提出いただけます。複数の書類は個々の書類としてアップロードせずに、必ずzip形式でまとめてください。提出されるファイル名には氏名を明記願います。なお、アップロード後、提出した旨をメールで連絡してください。提出ファイルの受け取り確認をメールでご連絡します。

### 書類提出に関する問い合わせ先：

水産生物環境学分野助教選考委員会事務局 E-mail：apmes-koubo@agr.kyushu-u.ac.jp

## 1 1. 公募に関する問い合わせ先

九州大学 大学院 農学研究院  
水産生物環境学分野助教候補者選考委員会  
委員長 鬼倉 徳雄  
E-mail：apmes-koubo@agr.kyushu-u.ac.jp

## 1 2. 労働条件について

- (1) 業務内容：九州大学大学院農学研究院における教育・研究
- (2) 雇用期間：期間の定めなし

ただし、採用当初は国立大学法人九州大学教員（年俸制）就業規則に規定する教員（年俸制）として採用される可能性あり。その場合は、採用年月日から5年（※）の雇用期間が付されますが、一定期間後、雇用期間のない教員に審査なしで移行します。（※本学における引き続き雇用期間がある場合には原則として通算して10年となる日を雇用の終期とします。）

国立大学法人九州大学教員（年俸制）就業規則

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2627/1/2011syuki005.pdf>

- (3) 試用期間：試用期間あり（3か月）
- (4) 就業時間、休憩時間、時間外労働：  
専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます。
- (5) 休日：土、日、祝日、12/29～1/3、年次休暇、夏季特別休暇
- (6) 賃金：年俸制（教育職基本年俸適用）

なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します。

ただし、国立大学法人九州大学教員（年俸制）就業規則に規定する教員（年俸制）として採用される場合は、国立大学法人九州大学教員（年俸制）給与規程に基づき年俸額を決定します。

※年俸制（教育職基本年俸適用）と教員（年俸制）は給与制度が異なります。各規程については13. その他（6）をご参照ください。

- (7) 加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金
- (8) 募集者の氏名又は名称：九州大学大学院農学研究院

## 1 3. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成 11 年法律第 78 号）の精神に則り、教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では「障害者基本法（昭和 45 年法律第 84 号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和 35 年法律第 123 号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (3) 九州大学では、平成 29 年 7 月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- (4) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページ（<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp>）を参照してください。
- (5) 送付された資料は選考以外の目的には使用しません。
- (6) 給与等についての規定および労働条件、その他勤務に関する詳細についての問い合わせ先：

国立大学法人九州大学職員給与規定：

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2635/1/2004syuki014.pdf>)

国立大学法人九州大学年俸制給与（教育職基本年俸）の適用に関する細則：

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf>)

国立大学法人九州大学教員（年俸制）給与規程：

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2636/1/2011syuki006.pdf>)

問い合わせ先：九州大学農学部等総務課庶務係 電話:092-802-4505